

**静岡型コミュニティビジネス起業者育成プログラムの構築  
検討報告書**

平成 25 年 3 月  
協同組合静岡県中小企業調査研究機構

# 静岡型コミュニティビジネス起業者育成プログラムの構築 検討報告書

～目次～

## はじめに

コミュニティビジネスとは？

### 1. 静岡型コミュニティビジネス起業者育成プログラムの概要

#### 2. 専門家協議会の設置と開催

- 2-1 専門家協議会設置の経緯
- 2-2 専門家協議会の構成
- 2-3 専門家協議会の開催
- 2-4 今後の課題

#### 3. コミュニティビジネス起業者育成講座の開催

- 3-1 開催の目的
- 3-2 講座の構成
- 3-3 講座の開催
- 3-4 今後の課題

#### 4. 専門家によるフォローアップの実施

- 4-1 フォローアップの必要性
- 4-2 専門家派遣の実施・専門家などによるフォローアップの実施
- 4-3 今後の課題

#### 5. プログラム運営に向けた提案

## 巻末資料

- ・コミュニティビジネス情報源ガイド

はじめに

## コミュニティビジネスとは？

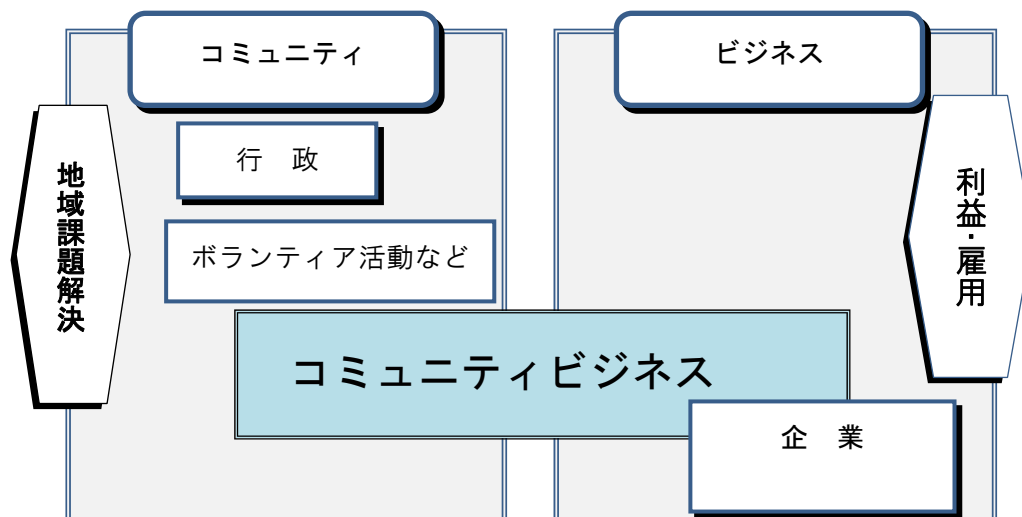
コミュニティビジネスは、『地域資源を活かしながら地域課題の解決を「ビジネス」の手法で取り組むもの』であり、地域の人材やノウハウ、施設、資金を活用することにより、地域における新たな創業や雇用の創出、働きがい、生きがいを生み出し、地域コミュニティの活性化に寄与するものと期待されています。※経済産業省関東経済産業局 HP より

コミュニティビジネスとは、地域で生活する皆さんのアイデアと熱意により生まれてくるものです。地域で毎日生活する中で困っていること、普段気づかない身の回りの地域資源が、コミュニティビジネスを始めるきっかけとなることが多々あります。

コミュニティビジネスは、地域の住民が、地域課題を主体的かつ継続的に、ビジネスの手法により、事業（体）として、事業運営していくことが大きなポイントとなります。

地域の課題は、採算性にのりにくい（むしろのらない）ものが多いのも事実であり、これら地域課題を抱える地域そのものが、その地域住民の手で、自らあるいは協力して、主体的にこれらの課題を解決していくことが求められています。そこから、地域が潤い、地域の活性化が図れる可能性を秘めているものと考えられており、現在、注目されているビジネス手法であるといわれています。

### 【コミュニティビジネスの考え方】



また、ここでいう地域の課題とは、「地域活性・地域資源活用・まちづくり・観光・環境・就業支援・女性の社会進出」など、実に様々な分野に拡がりをみせています。

活動組織（形態）も、NPO 法人をはじめ、個人、個人事業、任意団体、株式会社や企業組合などの法人格をもつ営利団体など、実に様々な組織形態が成り立っています。

「コミュニティビジネス事例集 2008」（関東経済産業局コミュニティビジネス推進チーム 2009 年 3 月発行）で紹介されている全国の事例では、4 つのカテゴリーに分けて紹介されています。

#### ① 域資源活用関連

『NPO 法人えがおつなげて（山梨県北杜市）』

～都市農村共生型の持続可能な社会づくりを目指して

山梨県内の過疎化が進んで限界集落となった農村と、田舎暮らしや農業へのニーズが高まる都市をつないだ NPO がある。農村には若者の声が響くようになり、遊休農地の解消も進みつつある。

#### ② まちづくり関連

『コミュニティ・レストラン「てまえみそ」（静岡県浜松市）』

～食を核にしたコミュニティの拠点づくり

誰もが気兼ねなく集える場所があったら…… そんなお茶の間のような空間を地域に作りたい！その思いをコミュニティ・レストランとして実現させた人がいる。

#### ③ 環境関連

『NPO 法人スペースふう（山梨県瑞穂町）』

～リユース食器のレンタルでイベントのゴミを削減

イベントや祭りの際に発生する大量のゴミ。その正体は、使い捨て食器だと言われている。地元の主婦グループが、環境のため循環型社会の実現のために何とかしたいと立ち上がり、リユース食器レンタル事業を展開する日本の草分けとなった。

#### ④ 活支援・福祉関連

『(株) シニア村（茨城県ひたちなか市）』

～高齢者の安心と快適を求めたマンション建設と運営

高齢になっても快適で安心な暮らしを続けられるようなマンション建設の企画を立て、意を同じくする人々を集めて実現した夫婦がいる。人々に望まれていても、手間がかかるため大手開発業者が手を出さない事業への挑戦である。

このようにコミュニティビジネスの目的・実例などをみていくと、

コミュニティビジネスとは、

- ・「地域の課題」を、
- ・「地域の力（ヒト・モノ・カネ）」で、
- ・「ビジネス形態で興しているもの」

と捉えることができます。

静岡県においては、「静岡県総合計画「富国有徳の理想郷“ふじのくに”のグランドデザイン平成23年2月」に基づき、「地域を支える魅力あるサービス産業と商業の振興」のための施策の一環として、コミュニティビジネスの創出（コミュニティビジネスの取組の促進）に取り組んでいます。

コミュニティビジネス振興の目的として、下記の着眼点が考えられます。

**着眼点1：地域内の活力アップ**

- ・魅力ある地域づくりに貢献

**着眼点2：地域内雇用の創出**

- ・地域に密着した事業展開

**着眼点3：創業（新事業展開）支援**

- ・顧客ニーズ（地域課題）が身近で明確であり創業しやすい

また、下記の2点も大きなポイントがあげられます。

- ・事業の継続
- ・雇用の創出

コミュニティビジネスが、イベント的でない、すなわち有償の商品（サービス）の提供により、事業資金の調達を含む継続事業としての運営がなされているか、また、事業を「職業」とする雇用が創出しているのかが重要です。

また、平成24年度に実施した「コミュニティビジネス起業者育成プログラムの構築と普及啓発事業」で設置した「産学官金の専門家による専門家協議会」において、コミュニティビジネスの実施するうえでの、3つの大事な要素が提言されました。

**① 目的・目標が明確であること**

事業を行う上での目的・目標が明確で、地域課題の解決させる方向に導くものとして設定されている。

**② 事業コンセプトと提供される商品サービスが明確であること**

その事業が地域課題を解決に向かわせる事と合わせて、ビジネスの基本となる2つのコンセプトに価値がある。

**③ 課題解決に向かうことで、新たな課題解決の可能性が見つかる事**

地域課題という様々な分野に及び、一つの課題解決が達成される事で、新たな課題解決の可能性が見つかる。

このような要素を持ったコミュニティビジネスの起業と事業者育成を図るために『静岡型コミュニティ起業家育成プログラム』は開発されました。

この報告書では、『静岡型コミュニティ起業家育成プログラム』の内容、および開発検討の経緯を整理しています。

# 1. 静岡型コミュニティビジネス起業者育成プログラムの概要

コミュニティビジネス起業者育成プログラムは、静岡県東部地域をモデル地域として「コミュニティビジネスの創出支援」のための振興策として実施しました。

- 『専門家協議会の設置と運営』『コミュニティビジネス起業者育成講座の開催』『専門家によるフォローアップの実施』の3本柱で構成されています。
- 地域課題を解決するためにコミュニティビジネスで起業を考える（起業している）方の起業化を対象に『コミュニティビジネス起業者育成講座』を核として、事業化に必要な事業計画の作成および事業計画の発表』を目的としています。

## コミュニティビジネス 起業者育成講座

### 参加者募集

コミュニティビジネスとは、地域課題を、地域住民自らが、ビジネスの手法を使って、問題解決することです。

セミナーや専門指導員のアドバイスを元にビジネスプランを練り上げ、金融機関からの融資や助成金へのエントリー等、具体的な起業に向けての方策を検討します。幅広い分野から、起業を検討しているの方々のご参加をお待ちしております。

講師には、広域関東圏コミュニティビジネス推進協議会幹事の方々を招聘し、ビジネスプランの基本的知識から企業・行政との連携方法と協働の進め方と、具体的にネットワークを活用し、経済的に自活し継続性のある企業の創出を目指します。

**柳田 公市 氏**  
NPO法人ナレッジネットワーク理事長、前ケイワン代表取締役を務める。新田友で「無印」ブランドの高級開発、海外卒業システム構築等を手がけた後、興ケイワンを設立する。静岡国際大学大学院ビジネスデザイン専攻科兼任教授、甲斐館大学エクステンションセンター-起業支援員、NPO法人南無輪！T推進協議会理事、認定ICT推進NPO連携協議会幹事、電子政府推進員なども務める。コミュニティビジネス支援事業で首都圏を中心に活躍している。

**竹林 晋 氏**  
有限会社テイクスペース代表取締役、大学卒業後、大学食品メーカーの営業を5年間経験する。その後、「社会」になりたいとの思いからコンビニ経営、移動販売車、携帯電話充電器代理店、レンタルボックスショップの経営と様々な事業にチャレンジ。現在レンタルボックスショップ「フリマボックス」を経営しながら、これまでの事業経験を活かし、中小企業の支援をおこなっている。中小企業診断士、中小企業大学校講師、アドバイザー、川崎市産業振興財団専任理事、コミュニティアドバイザー。

**日程** 全10日  
講師の都合については、要領書をご覧ください。

**費用** 受講料無料  
(テキスト代別途 630円)

**会場** めまづ産業振興プラザ

**定員** 15名(先着順)

◆主催◆ 静岡県・沼津地域産業振興協議会 ◆開催協力◆ 静岡県中小企業団体中央会 富士山麓産業振興連絡会(沼津市・三島市・富士市・富士宮市・裾野市・御殿市)

## 「コミュニティビジネス起業者育成講座」日程

日 時	テーマ	講 師
1 2011年 11/16(水) 18:30~20:30	・ソーシャルビジネス・コミュニティビジネスとは何か？ ・今後の講座運営ガイドランス	柳田公市
2 11/30(水) 18:30~20:30	・ビジネスコンセプトの構築 ・地域資源活用の手法	柳田公市
3 12/ 7(水) 18:30~20:30	・事業起頭の見つけ方 ・地域別SB/CBの事例に学ぶ	柳田公市
4 12/14(水) 18:30~20:30	・共同事業推進者の探し方 ・企業・行政との連携方法と協働の進め方	柳田公市
5 12/21(水) 18:30~20:30	・営業にはどんなコストがかかるのか？ ・収益構造が成立するためのポイント ※終了後懇話会(有志)	柳田公市 竹林 晋
6 2012年 1/11(水) 18:30~20:30	・事業運営に必要な法的な手続き ・マネジメントの基礎知識	柳田公市
7 1/18(水) 18:30~20:30	・成功、失敗事例から学ぶ有益な運営方法 ・ビジネスプラン(テーマ)発表	竹林 晋
8 2/ 1(水) 18:30~20:30	・ビジネスプラン作成	柳田公市
9 2/ 8(水) 18:30~20:30	・第一次ビジネスプラン案発表	竹林 晋
10 2/22(水) 18:30~20:30	・最終報告会	柳田公市 竹林 晋

受講料 無料

### 参加申込書

申込先 めまづ産業振興プラザ  
〒410-0801 沼津市大字町1-1-3 沼津海産ビル9階  
E-mail info@numazu-plaza.net  
TEL:055-964-1581 FAX:055-964-1583

お名前	ふりがな
ご住所	( 県 )
電 話	
F A X	
E - m a i l	
起業のプラン	

【個人情報利用目的について】  
ご提供いただく個人情報は、本人の同意がある場合及び行政機関等から法令等に基づく要請があった場合を除き、個人情報無断第三者への提供または開示をいたしません。ご提供いただいた個人情報を正しく管理するよう努めます。

図 平成 23 年度 コミュニティビジネス起業者育成講座の概要

受講者募集

10月13日(土)開講

# コミュニティビジネス 起業家育成講座

受講  
無料

『コミュニティビジネスとは、地域の課題をビジネスの手法を使って、解決することです。』  
あなたが抱えている地域の課題を「自らのビジネスとして解決したい!」  
そんな思いをお持ちの方が起業するためのノウハウを学ぶ講座です。

コーディネーター・講師：宮口 巧 (みやぐち たくみ) 氏

【株式会社ワケナシ 前市員】マーケティングアドバイザー 三島市出身。現在、静岡市中・東部を中心に、起業アドバイザー、中小企業のマーケティングサポートを務める。  
※ウェブサイト：「小さな会社のマーケティングプロ」  
【支援機関専門アドバイザー】静岡市中小企業団体中央会、静岡市産業振興財団、静岡県商工労働会、三島商工会議所、農林水産省6次産業化プランナーなど多数



- テーマ** 実践型ビジネスプランの作成  
～事業戦略と実践オペレーション～
- 対象者** コミュニティビジネスを活用して  
起業を考えている、起業したい、  
起業準備をしている、起業している方など
- 日程** 全8日  
(講習の日程については、裏面をご覧ください)
- 費用** 受講料無料 (但し、宿題以外の交通費・飲食費・  
懇親会費は、受講者負担です。)
- 会場** 東部地域イノベーションセンター 他
- 定員** 20名  
(先着順とし、定員になり次第締め切ります。)



- 主催● 静岡県・協同組合静岡県中小企業調査研究機構
- 原簿協力● 静岡県中小企業団体中央会、静岡県東部地域振興協議会、富士山産業振興連絡会 (前津市・三島市・富士市・富士宮市・裾野市・御殿橋市)

## 「コミュニティビジネス起業家育成講座」日程

本気で起業をお考えの方、お待ちしております!

回	日時	内容	会場	
1	10/13(土) 10:00~17:00	開講式 コミュニティビジネスとは? パベルディスカッション ※ 講義終了後に懇親会を予定しています (会費は受講者負担)	東部地域イノベーションセンター	
2	10/27(土) 13:00~17:00	ワーク ショップ	地域課題とは 課題解決の方向性を探る	東部地域イノベーションセンター
3	11/10(土) 13:00~17:00	ワーク ショップ	課題を見つける 事業コンセプトの作成	東部地域イノベーションセンター
4	11/23(金・祝) 10:00~17:00	講義	先進的コミュニティビジネスを学ぶ 日本大学 教授 教授 ビジネスプラン (経営計画・財務等) 作成	ピコ21 2F会議室
5	12/1(土)	終日	現地視察 東部地区の事例研究	静岡県東部地区
6	12/8(土) 13:00~17:00	ワーク ショップ	ビジネスプラン案内部発表会	東部地域イノベーションセンター
7	12/15(土) 13:00~17:00	ワーク ショップ	ビジネスプランのブラッシュアップ プレゼンテーションの仕方等	東部地域イノベーションセンター
8	1/12(土) 13:00~17:00	発表会	最終成果発表会	東部地域イノベーションセンター

参加申込書  
(協) 静岡県中小企業調査研究機構 行  
お申込みFAX: 054-255-0673

お申込みお問合せ 協同組合静岡県中小企業調査研究機構 コミュニティビジネス起業家育成事業 担当  
静岡市葵区迫手町44-1 静岡県産業経済会館6F (静岡県中小企業団体中央会内)  
TEL: 054-254-1511 FAX: 054-255-0673

ふりがな	年齢	歳
お名前		
連絡先	ご住所	〒
	電話番号	FAX番号
	携帯電話番号	
	E-mail	
<input type="checkbox"/> 起業を考えている <input type="checkbox"/> 起業準備中 <input type="checkbox"/> 起業している		
事業プラン 起業プラン (裏面にご記入ください)		

個人情報の利用目的についてご説明いただく個人情報は、本人の同意がある場合及び行政機関等から法令等に基づく要請があった場合を除き、個人情報の第三者への提供または開示をいたしません。ご提供いただいた個人情報は正確に処理するよう努めます。

図 平成24年度 コミュニティビジネス起業家育成講座の概要

- 起業家育成プログラムは、『地域内の多数の専門家機関』（学識経験者・コミュニティビジネス事業者・金融機関・産業支援機関・行政機関等）で構成される『専門家協議会』を設立し、運営しています。



写真 専門家委員会の様子

- 『専門家協議会』では、専門家委員とその組織の有する支援策などを活用し、起業家育成講座と事業継続についてのフォローアップを実施しています。



- プログラムの運営に際しては、産業支援機関に事務局は設置しています。
- 事務局は、プログラムの運営において、『専門家協議会の開催事務』『起業者育成講座の開催事務』『起業者・講座受講者からの相談窓口および専門家への橋渡し』を中心とした役割を担当しています。

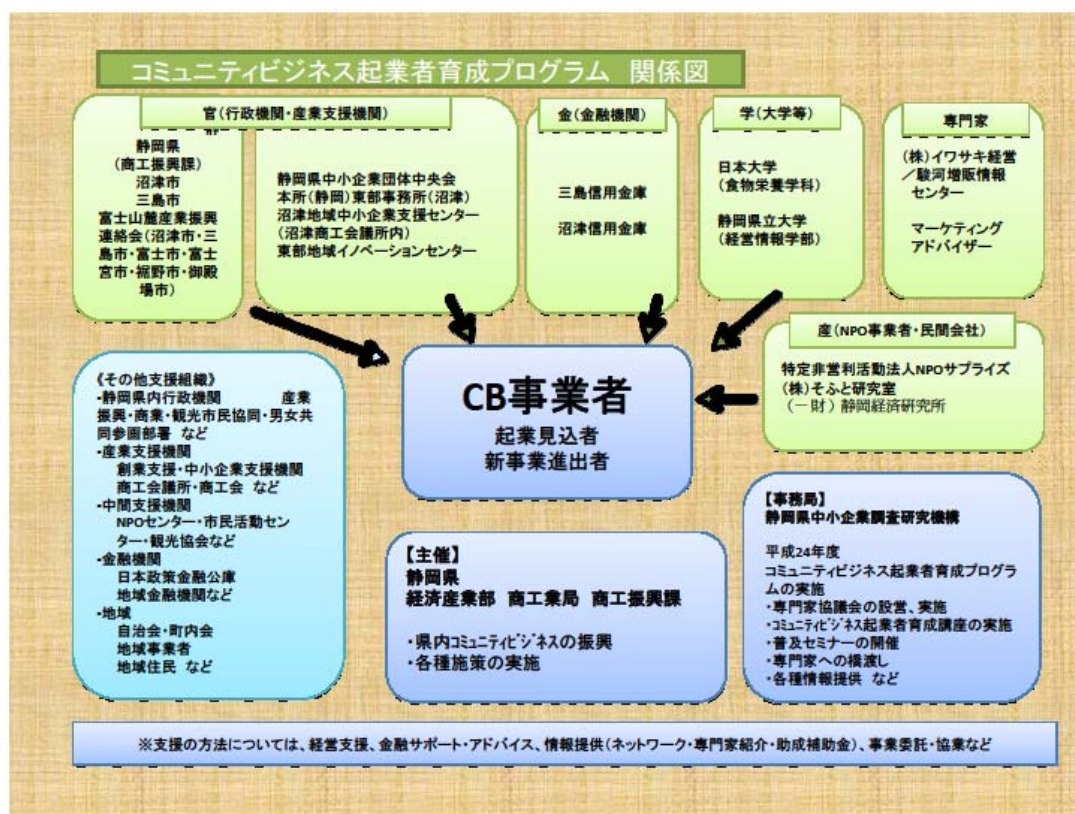


図 静岡型コミュニティビジネス起業者育成プログラムの関係図

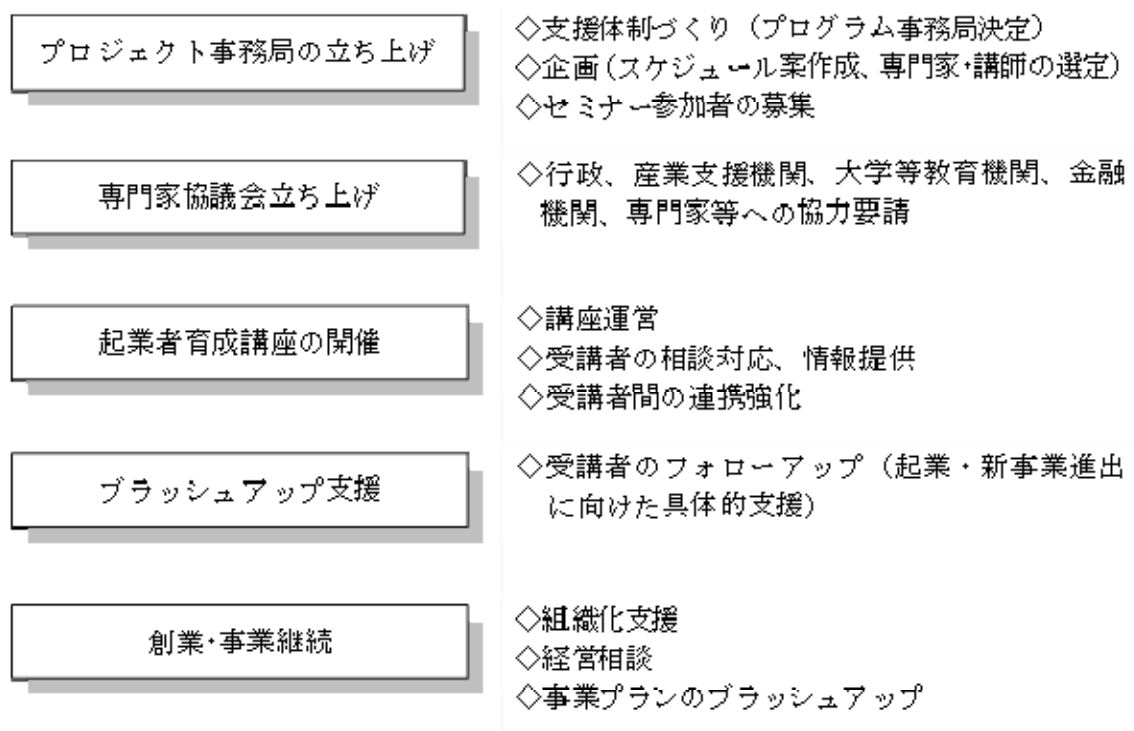
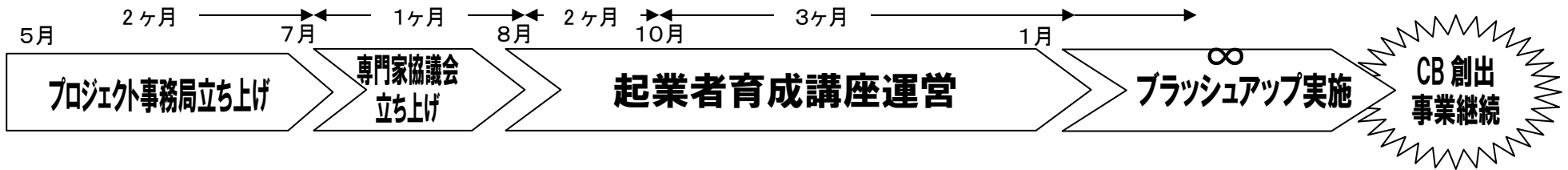


図 静岡型コミュニティビジネス起業者育成プログラムのスキーム

コミュニティビジネス起業者育成プログラムと役割（例）



受講者			●応募	●講座受講 事業計画作成 <b>Plan</b>	●事業計画発表 <b>Do</b>	<b>Check</b>	<b>Action</b>
専門家	例：ビジネスプラン 現地視察 先進事例紹介・交流	●カリキュラム決定 ・講座内容検討 ・特別講義内容の決定 ・視察先の決定 など	●募集 ・案内配布	●受講者の相談対応 相談内容： ・ネットワークづくり ・組織形態 ・事業計画 ・財務、資金計画	●発表会出席 ●アドバイス実施 マッチング	●窓口相談 ●専門家派遣制度 ●補助金・助成金申請 ●ビジネスコンテスト応募 ●講座、セミナー参加	例：・組織形態 ・開業手続 など 例：具体的計画づくり 個別相談窓口 など
事務局	●体制づくり ・主催者、事務局決定 ・拠点選定 ●企画 ・スケジュール案作成 ・専門家委員選出 ・講座メイン講師選出 ・カリキュラム案作成	●専門家協議会 例：産学官金（民） 例：起業者育成講座 内容策定	●募集 ・案内作成 ・案内配布 ・申込対応	●受講者 相談受付 ・相談内容の把握 ・相談先の紹介 ●講座運営 ・講師等調整 ●メーリングリスト運営 ・情報提供 ・受講者間情報共有	●専門家協議会 最終成果発表会	●専門家協議会 ●受講者フォロー 受講者相談対応 相談初期窓口	例：情報収集 申請書類記入方法など 例：・情報収集方法 ・開催案内 など

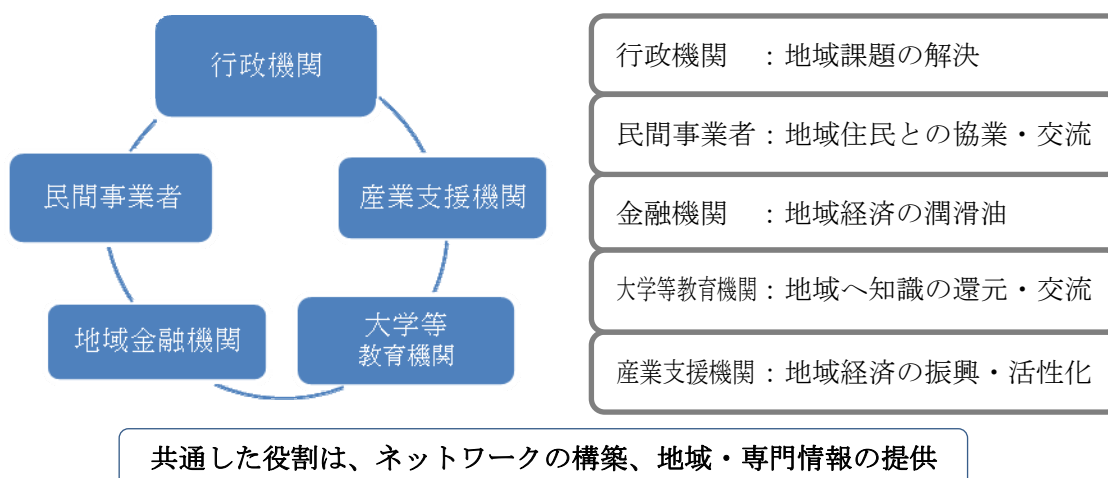
## 2. 専門家協議会の設置と開催

### 2-1 専門家協議会設置の経緯

『専門家協議会』とは、県内コミュニティビジネス振興およびコミュニティビジネスの担い手となる人材や起業家育成のために、各界で活躍する専門家によって、平成24年度に『コミュニティビジネス起業家育成プログラム』運営のために構成された組織です。

行政、産業支援機関、大学等教育機関、金融機関、民間事業者など、コミュニティビジネス・地域の産業振興に係る専門家・実務家により、『起業家育成講座実施に際する情報発信』『起業家育成プログラム実施への提言』『起業家育成講座での特別講義の実施』『起業家育成講座受講者の事業計画発表へのアドバイス』などを行う目的に設置しました。

コミュニティビジネスは、まだまだビジネスモデルとして成り立ちにくいケースが多いことから、行政をはじめ支援機関、経営の専門家や実際の実務家など、実際の事業の現場からサポートする側まで様々な関係者が一堂に会し、顔が見える協議会形式としました。



一般的な企業運営と違い、コミュニティビジネスでは、地域の課題を解決することが求められており、地域の課題を共有していることが求められます。

そこで、各専門家が得意とする分野やノウハウを持ち寄り、その課題解決できる体制の構築目指しました。

コミュニティビジネスを興そうとする方々が、知りたいと思われる情報やネットワークを築いていくための仕組みが、この専門家協議会という連携体により、様々な地域の課題の受け皿かつ課題解決として機能を担うことができると考えました。

## 2-2 専門家協議会の構成

構成する専門家は、地域を代表する『産学官金』のメンバーにて構成されています。産業界から静岡県内のNPO事業者、大学等の教育機関等から、組織論や産学連携を研究・実践する大学関係者、県市町の産業振興部署や地域の産業支援機関担当者、地域の金融機関など、計13名（行政機関3名・産業支援機関3名・大学2名・金融機関2名・金融系シンクタンク1名・民間事業者2名）の専門家に参画いただきました。

平成24年度 コミュニティビジネス起業者育成プログラム 専門家協議会委員				
分類	氏名	所属		
1	専門家	官口 巧	株式会社イワサキ経営／駿河増販情報センター	マーケティングアドバイザー
2	専門家	こくほ 国保 あきこ 祥子	静岡県立大学 経営情報学部	助教
3	専門家	室伏 誠	日本大学食物栄養学科・専攻科食物栄養専攻	学科長・教授
4	専門家	川口 勝民	三島信用金庫 サポート営業部 法人サポート課	課長
5	専門家	渡邊 一二	沼津信用金庫・沼津地域中小企業支援センター	コーディネーター
6	専門家	榊原 和浩	沼津市 産業振興部 商工振興課	課長補佐
7	専門家	岡村 秀一	三島市 産業振興部 商工観光課 商工労政係	係長
8	専門家	たまおき 玉置 実	一般財団法人静岡経済研究所 調査部	主任研究員
9	専門家	飯倉 清太	特定非営利活動法人NPOサブライズ	代表理事
10	専門家	坂野 真帆	株式会社そふと研究室	代表取締役
11	専門家	稲葉 大典	静岡県東部地域技術振興協議会	事務局長
12	専門家	浅野 佐文	静岡県 経済産業部 商工業局 商工振興課	課長代理
13	専門家	大村 吉夫	静岡県中小企業団体中央会 東部事務所	副所長
14	オブザーバ	村松 晴義	静岡県中小企業団体中央会 総務部	部長
15	オブザーバ	深井 利治	静岡県中小企業団体中央会 指導部	部長代理

各専門家には、コミュニティビジネスで起業をしようとする方々をその得意分野で指導いただくこと、専門家同士の情報を共有することで、何故コミュニティビジネス振興が、地域にとって重要かという認識を一致させることが最初に求められました。その共通認識により、専門家協議会自体が地域課題を共有し、それをビジネススタイル（継続と雇用など）とするにはどうすればいいのかを考えることが求められました。

### 2-3 専門家協議会の開催

専門家協議会は、期間内（年度内）に3回実施しました。

#### 【開催内容】

#### 《第1回》：平成25年9月5日(水)14:00-16:00

[議題] 専門家協議会の趣旨（コミュニティビジネス振興について）  
コミュニティビジネス起業者育成講座について

[内容] ・コミュニティビジネス振興と専門家協議会の在り方について共通認識の構築  
・講座内容（カリキュラム）の検討

#### 《第2回》：平成25年1月12日(土)10:00-17:00

[議題] コミュニティビジネス起業者育成講座・最終成果発表会について  
コミュニティビジネス振興セミナー（県中西部）について  
講座フォローアップ体制等その他事業について  
専門家協議会の今後について

「コミュニティビジネス起業者育成講座 最終成果発表会」審査・講評

[内容] ・コミュニティビジネス起業者育成講座の開催状況の確認  
・受講者の事業状況の確認  
・講座フォローアップの方法の検討  
・「コミュニティビジネス起業者育成講座」での、発表者への講評・アドバイスの実施

#### 《第3回》：平成25年2月14日(水)10:00-12:00

[議題] コミュニティビジネス起業者育成プログラム（案）について  
専門家協議会の今後について

[内容] ・コミュニティビジネス起業者育成プログラムについての提言  
・講座終了後の受講者フォロー体制の検討  
・専門家協議会の在り方や協力体制についての意見交換

#### 主な専門家委員からの意見として

- ・地域の魅力を発信していきたいという人は潜在的には多くいると思うのでその方々をどう起業に結び付けていくかが重要である。『専門家協議会』としては、本来この後が重要であるため、起業化するには何が必要かという課題を見つけていただき、その後またこの協議会で意見交換・課題の抽出ができればよいと思う（行政機関）
- ・コミュニティビジネスについての何らかの位置づけが必要である。その対応策としてやる気のある方々を掘り起し、それを地域で支援していこうとする『相談窓口』を開設する予定である。（行政機関）
- ・起業したときにうまく運営できるか、売上・資金対応など不安面を抱えているはずである。その場その場での相談窓口が必要である。（産業支援機関）
- ・開業は誰でもできるが、事業継続は難しい。様々な相談に対応しつつ、他の相談機能（知的財産窓口やマスメディアの活用など）も紹介しながら、対応している。（金融機関・産業支援機関）
- ・幅広い分野の方々にお声掛けして、プログラムを検討することが有効である。行政なども様々なセクションにこういう支援も必要だということを内部啓発することも必要なのではないか。そうでないとコミュニティビジネスで起業をしようとする方々が、弱小事業者で終わってしまう可能性があるし、ビジネスの構造の中で弱者を作ってしまうので、社会全体として支援・バックアップしていく部分がないといけない。（民間事業者）
- ・地域の課題・地域の連携ということで参画させていただいたが、実際の受講者などと交流させていただき、自分の可能性・想いを強く持たれていると感じた。私が入り組みたいと思っている地域の活性化の中でこのプログラムの重要性は高いという印象だ。（大学等教育機関）
- ・定期的な相談窓口やネットワークは確実に必要だと思う。継続できるとその仕組みが効果的な取り組みになる。ただ、今回の受講者を見ている限り、もう少し顧客ニーズを調査する必要があるのではないかと感じた。この課題に取り組みたいという気持ちはわかるが、しっかりと調査しないと、どこにお客さんがいるのかわからないのではという印象を受けた。（大学等教育機関）
- ・創業者支援は、昔に比べて手厚い！時代は変わったと感じている。そういう中で創業者向けワンストップサービスは重要かつ便利だと思う。ネットワークを活用することで解決の糸口は見つかると思う。と同時にどこまで支援していくのかの線引きも必要である。（金融機関）
- ・金融機関＝資金支援だけではなくて、金融機関の立場で、自分の立ち位置をどこにおいたらいいのか考えてきたが、相談があった時の窓口的な立場でもよいと思う。（金融機関）

・コミュニティビジネスを普及させていくには、こういうモデルがある、こういう可能性があると広く認識していただくことが必要。土台をどうやって作るか。こうした各専門家の支援と『コミュニティビジネス』という言葉を発信してほしい。  
(マーケティング専門家)

## 2-4 今後の課題

専門家協議会設置に関しては、行政・産業支援機関・大学等教育機関・金融機関・民間事業者など「産学官金」から参加いただきました。

「地域課題を解決する事業者の創出を支援する」という共通認識のもと、協議会へ参加いただきましたが、得意とする専門分野の違い等から生じるコミュニティビジネス自体への認識の違い（コミュニティビジネスとソーシャルビジネスの違いやどの分野がコミュニティビジネスといえるのかなど）を埋めるために時間を要するため開催回数等への課題やコミュニティビジネスの事業分野が多岐にわたるため限られた分野の専門家だけではどこまで支援できるのか、などの課題が挙げられました。

### 〔開催回数・頻度〕

・年度内3回（9・1・2月実施）

開催回数は、年度の中で3回と限られていたため、コミュニティビジネス起業者育成講座の状況・情報の共有化含めて、議論を深めていくには時間的に難しい状況でした。情報認識や提供できるノウハウが有効的に機能していなかったといえます。

そんな中、コミュニティビジネス起業者育成講座にプライベートも含めて、専門家委員個人でも参加いただき、具体的アドバイスや講座外でのフォローアップをいただくこともありました。

開催頻度に関しては、「月1回程度の開催」や「コミュニティビジネス起業者育成講座開催中にはもう少し中間状況確認など含めて開催をしてもよかったのではないか」という意見がでました。

### 〔専門家の選定〕

・産学官金より各2~3名程度（平成24年度13名）

産学官金のご担当者ご参加いただき、バランスはとられていたものの、コミュニティビジネス自体の業種・業務が多岐にわたり、様々な専門家の力が必要でもあるといえます。

コミュニティビジネスの事業体としては、NPO法人が多いため、NPOセンターなどの中間支援機関も参画いただいたほうがいいのかという提言もありました。また、様々な分野での課題が考えられることから、観光分野では、観光協会や旅行事業者、地域興しとしては、市民活動センターや地域ネットワーク、地域資源活用では、業界団体など、その状況に応じてニーズに応じた専門家の参画を検討する余地があるかと思えます。



### 3. コミュニティビジネス起業者育成講座の開催

#### 3-1 開催の目的

静岡県東部地域をコミュニティビジネス振興のモデル地域と捉え、「地域の課題をビジネスの手法で解決する」コミュニティビジネスをビジネス手法として着目し、事業創出支援・新たな事業化促進をすることで地域経済の振興と雇用の創出を目的として定めました。

昨年度（平成23年度）は、沼津市内において平日夜（2時間）を中心に連続講座「コミュニティビジネス起業者育成講座」を実施しました。

本年度（平成24年度）では、より実践的にビジネスプランを自ら作成し、発表できるようにすることを目標に定め、土曜日半日もしくは終日で集中的に学べる連続講座とし、実施しました。

同時に、志熱く地域の活性化を目的とした仲間が、互いに情報交換・意識を高めながら具体的行動に向けて、支援できる仕組みを目指しました。

受講者を一堂に集まる講座形式とすることで、地域の課題を解決したいという課題をもつ受講者を、まとめて支援することも可能と考えました。

#### 3-2 講座の構成

本年度（平成24年度）の講座内容については、テーマを「実践的ビジネスプランの作成～事業戦略と実践オペレーション～」としました。より「起業・事業化」に近い受講者の受講をイメージし、より実践的かつ論理的な思考を体感していただくことを目指しました。

講座組成とコーディネート・メイン講師として、ビジネスプラン・マーケティングの経営専門家に依頼しました。（専門家協議会専門家兼務）

講座内容は、受講者が、「自らビジネスプランを作成し」、「自ら発表（プレゼンテーション）」できることを目標としました。



写真 講座開催の様子

また、「コミュニティビジネス実践者である地域の NPO 事業者」や「専門分野の研究・事例を知る大学教授」「具体的経営指導ができる産業支援機関のアドバイザー」らも講師に招き、実体験や事例などを学ぶことで、受講者が起業への具体的なイメージが沸くような体制をとりました。



写真 特別講座の開催状況

さらに、集合研修だけでは見えない「コミュニティビジネスの現場を知り・体験する」という目的で、県内の3か所のコミュニティビジネス事業者を視察・訪問・サービス体験も行い、総合的により実践的なメニューを用意しました。



写真 視察の様子

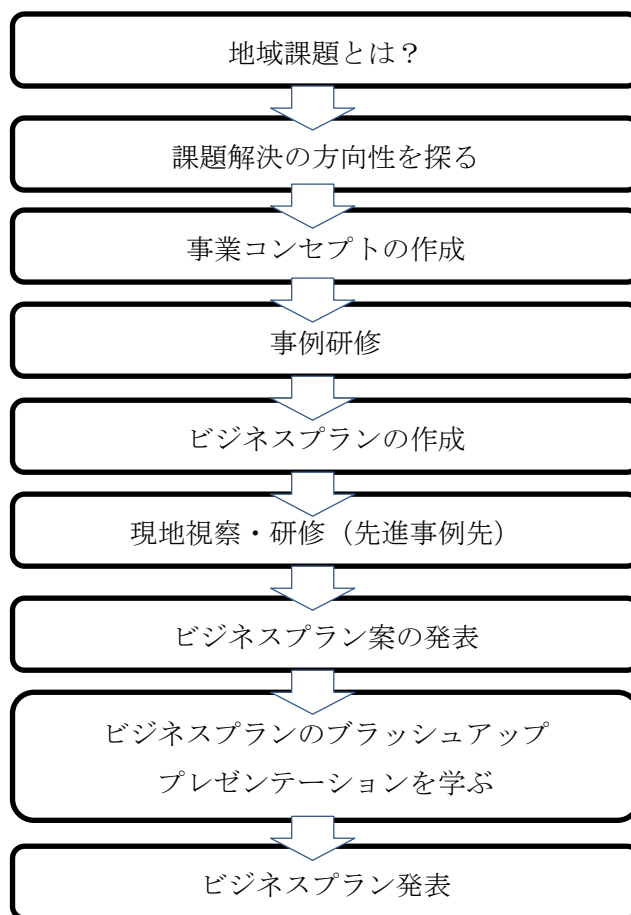


図 講座構成のイメージ

### 3-3 講座の開催

《平成 24 年度 コミュニティビジネス起業者育成講座の開催内容》

テ ー マ：実践型ビジネスプランの作成～事業戦略と実践オペレーション～

対 象 者：コミュニティビジネスで起業をしたいもしくは起業している方

日 程：全 8 日（隔週土曜日開催 半日もしくは 1 日）

費 用：無料（視察以外の交通費・飲食費などは実費負担）

定 員：20 名

会 場：東部地域イノベーションセンター（沼津市）

主 催：静岡県・協同組合静岡県中小企業調査研究機構

開催協力：静岡県中小企業団体中央会・静岡県東部地域技術振興協議会

富士山麓産業振興連絡会

（沼津市・三島市・富士市・富士宮市・裾野市・御殿場市）

表 コミュニティビジネス起業者育成プログラム カリキュラム

	日時		内容	
1	10/13(土)	10:00～17:00	講義 パネルディスカッション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開講式</li> <li>・「コミュニティビジネスとは？」</li> <li>・「パネルディスカッション コミュニティビジネスの現場から」</li> </ul>
2	10/27(土)	13:00～17:00	ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域の課題とは？」</li> <li>・「課題解決の方向性を探る」 グループワークを元に地域課題の周辺に存在する情報を収集する。</li> </ul>
3	11/10(土)	13:00～17:00	ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「課題を見つける」</li> <li>・「事業コンセプトの作成」 自分が設定した課題を解決する事で、どんな事を実現させる事が出来るか？を明確し、ビジネスの仮説を設定</li> </ul>
4	11/23(金祝)	10:00～17:00	講義	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コミュニティビジネス先進事例を学ぶ」</li> <li>・「ビジネスプラン作成」 (経営計画・財務等)</li> </ul>
5	12/1(土)	終日	現地視察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視察研修（先進事例地） 蔵ら（松崎町） 戸田塩の会（沼津市戸田） NPO サプライズ（伊豆市） 現地で代表者からの講義を受けながら、商品サービスを知る</li> </ul>
6	12/8(土)	13:00～17:00	ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ビジネスプラン案の内部発表」 自身のビジネスプランを発表し、添削、アドバイスを受ける</li> </ul>
7	12/15(土)	13:00～17:00	ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ビジネスプランのブラッシュアップ」 添削内容の修正から、精度の高いビジネスプランに仕上げる 「プレゼンテーションを学ぶ」 成果発表会に向けて、プレゼンテーションを効果的に行うノウハウを解説</li> </ul>
8	1/12(土)	13:00～17:00	成果発表会	<p>最終成果発表会 (1人7分のプレゼンテーション)</p> <p>専門家、マスコミ、コミュニティビジネス事業者からのアドバイス・講評</p>

今回の講座では、県東部でのコミュニティビジネスの起業者の普及・醸成を目的とし、会場を沼津市としました。伊豆半島を含む静岡県東部地域で活動する個人・団体を対象と定め、個人での創業から、事業者の新事業進出までを対象としました。

静岡県（商工振興課）の主催ということもあり、一行政区域（市町のみ）ではなく、広域での募集とすることでより幅広くニーズに対応できると考えました。

実際には、県東部を中心に、中部地区（静岡市・焼津市・牧之原市）、西部地区（浜松市）からの受講申し込みがありました。申込締め切り後にも、産業支援施設経由、講座開催の新聞掲載記事などを通じて、県内から受講したいという問い合わせもありました。これは、主要駅（今回は沼津市駅前の会場）近くであったこと、また開催を土曜日中心としたため、広域からの受講も可能であったことに起因しているものと思われます。

講座の受講者募集に関しては、専門家協議会や行政機関・行政機関などで構成されるネットワーク会議、産業支援機関や中間支援機関などの幅広く広報協力を戴くとともに、民間事業者・専門家によるネットワークによる口コミや SNS の活用を図ることで幅広く広報活動を行いました。

#### 《平成 24 年度コミュニティビジネス起業者育成講座 受講者状況》

受講者 25名（うち最終発表者 12組14名）

割合 男女比 男性13名 女性12名

起業前13名 起業準備中7名 起業後5名

平均年齢42.7歳（26～62歳）

地域 県東部が中心（沼津地域を中心に南伊豆町から富士市まで）

中西部からも参加者あり（静岡市・焼津市・牧之原市・浜松市）

下記のような起業予定者・事業者が受講しました。

[起業前]・地域の公民館を活用したコミュニティカフェの運営

- ・地域の観光・交流人口増加のためのベロタクシーの事業化
- ・女性の社会進出のための民間相談窓口の創設

[起業後]・子育て支援サークル（フリーペーパー発行・イベント実施など）の事業化

- ・伊豆半島ジオパーク認定に伴う「地形を模した」菓子製造による地域活性化
- ・地域資源を活用した農産品の6次産業化とその組織づくり

講座の構成としては、受講者が最終的に自らのビジネスプランを発表する「最終成果発表会」を最終回に据え、専門家やマスメディアや地域で活躍する事業者などを招き、プレゼンテーションを行う形式としました。最終的には、25名の受講申込に対して、

14名（12組）が最終発表会に参加し、自らのビジネスプランを発表しました。



写真 最終発表会の様子

### 3-4 今後の課題

コミュニティビジネス起業者育成講座の開催における主な課題は以下のとおりです。

#### 【会場について】

今回は、東部地域をモデル地区として設定したため、沼津駅徒歩圏内の開催会場は好評でした。ただ、受講者は、県中部・東部からもあり、また、中西部から開催予定はないのかという問合せもありました。

#### 【開催日時について】

開催日時については、一部平日開催を希望された方や、主婦などで半日・一日の講座では出席がなかなか難しいという意見も出ましたが、概ね今回の開催日時でよかったという意見が大半でした。ただ、前年度行ったように平日夜に集中して行う方式もよかったのではないかという専門家からの意見もありました。

#### 【講座内容について】

講座内容については、講座受講の対象者を起業前、起業後の両者がいるなかで、そのボトムにいる方に合わせた講座内容としました。受講者を対象に行った受講後アンケートでは、起業されている方からは「スピードが遅い感がある」という意見、起業前の方からは「(まだビジネスプランが固まっていない人間には) そのレベルの差でついていくのが精一杯」という意見もあり、受講者のターゲットをどこに置くかと同時にどこに焦点を絞るのが課題となりました。

また、講座の目的は、ビジネスプランを精度高く作ることにありましたが、起業時の組織形態や財務などの手続きや起業後の人脈や情報の得方や相談窓口どこにあるかなどの具体的活動に関する要望もありました。

**平成24年度『コミュニティビジネス起業家育成講座』受講者アンケート結果**

実施日：平成25年2月

対象者：講座受講者（最終受講者）

回答数：15名

**Q1. 講座の内容は理解できましたか？**

理解できた 12人

理解できなかった 1人

どちらでもない 1人

〔理解できない理由：（理解できた部分と）講座内で理解できなかった部分があります。財務や、実際の組織運営の仕方などは個別で相談させていただきたいと思いました。〕

**Q2. 講座の内容は期待どおりでしたか？**

期待通り 11人

期待通りではない 0人

どちらでもない 4人

**Q3. 講座の期間（3か月）は妥当でしたか？**

妥当 12人

妥当ではない 2人

どちらでもない 1人

〔妥当ではない理由：すでに事業をスタートしている人としていない人とのハンディがあった。実際に起業したい人には人にはスピードが遅い内容だと感じた〕

**Q4. 月2回程度の開催頻度は妥当でしたか？**

妥当 14人

妥当ではない 1人

**Q5. 土曜日（半日・1日）の開催は妥当でしたか？**

妥当 13人

妥当ではない 1人

どちらでもない 1人

〔妥当ではない・どちらでもない理由：子供を預けての受講だったため4時間はちょっと辛かった。平日の開催が良い。〕

**Q6. 受講前よりコミュニティビジネスの事業化への志は高まりましたか？**

高まった 12人

高まらない 0人

どちらでもない 2人

無回答 1人

**Q7. 講座全体の評価は？**

満足 14名

不満足 0名

どちらでもない 0名

無回答 1名

**Q. 更なる支援を希望する内容について**

- ・これからどこに相談してよいかわからない時に相談できる窓口があってほしい。（起業後・女性）
- ・起業するときどういう組織形態にすればいいのか、どうやって進めていけばいいのか教えてほしい。（起業前・女性）
- ・事業進行毎のフォローアップ体制・講座が欲しい。（起業準備中・男性）
- ・他の団体などに視察したい時に支援・情報提供がほしい。（起業準備中・女性）

#### Q. 講座への感想・主催者への意見

- ・講師の歯切れいい講義には毎回発見があり、的確で（愛のある！？）アドバイスを返していただき、更なるブラッシュアップができました。（起業後・女性）
- ・実際に起業している人、していない人にとって、この様に情報を取りに行けてまた個別に専門家に相談できる機会はとても有意義なものです。（起業後・女性）
- ・参加できない回もありましたが、講座資料を送っていただき、確認させていただきました。CBを求めている人はまだまだ多くいらっしゃると思います。開催の告知方法がより多く広まれば、より多くの参加者が来ると思います。（起業後・男性）
- ・講座を通して新たな自分自身の課題、地域の課題も見えてきました。社会を見る目視野も広くなりました。（起業準備中・女性）
- ・講師の話は、説得力があり、また様々な実例などを挙げていただき聞きやすく、大変面白かったです。今回の講座で学んだことをひとつひとつクリアしていきたいです。（起業後・女性）
- ・3か月間の講座で、他の受講者さんと顔を合わせることで、仲間意識が芽生え、毎回いい刺激になりました。（起業後・女性）
- ・この講座は、継続して実施してほしい、もっと時間をかけて行ってほしい。他の地域でも実施してほしい。（新事業進出・男性）

出典：「平成24年度コミュニティビジネス起業家育成講座」受講者アンケート



## 4. 専門家によるフォローアップの実施

### 4-1 フォローアップの必要性

本事業においては、起業育成講座とともに受講者の個別支援をするフォローアップ体制を敷くことで、より実践的な活動を支援することとしました。

講座は、集合研修の形式であり、また受講者の起業へ向けての状況や参加者のレベルも違う上、講座での理解度の違いなどがあったため、個別のフォローアップを行いました。フォローアップの方法は、下記の3本柱にて実施しました。

- ① 経営の専門家による個別指導
- ② 専門家委員からのアドバイス・情報提供
- ③ 事務局からの情報提供・専門家への橋渡し

「コミュニティビジネス起業育成講座」では、一対多数の集団による知識や技術の取得や受講者間での横連携を重視し、フォローアップ体制にて、個別のビジネスプランや起業に向けての具体的アドバイスを実施しました。

### 4-2 専門家派遣の実施・専門家などによるフォローアップの実施

#### ① 経営の専門家による個別指導(専門家派遣の実施)

講座受講者の中で希望者に対して、専門家によるアドバイスを実施しました。起業前の方からは、ビジネスプランのブラッシュアップ・プレゼンテーションについて、起業・新事業進出の方については、個別のニーズに応じたアドバイスを実施しました。

#### ② 専門家委員からのアドバイス・情報提供

専門家委員からは、それぞれの得意分野における個別指導・情報提供を行いました。

- ・行政機関…行政支援・施策の紹介やネットワーク紹介など
- ・産業支援機関…各種経営相談をはじめ、専門家派遣制度、組織化支援、助成金・補助金制度の紹介など支援メニュー対応
- ・大学等教育機関…研究成果の利用や社会人講座の聴講など
- ・金融機関…資金・財務・融資相談、ビジネスプランコンテストへの参加など
- ・民間事業者…先進事例の紹介、事業者の紹介・コラボレーションなど

#### ③ 事務局からの情報提供・専門家への橋渡し

事務局としては、講座開催中には、コミュニティビジネスや起業・新事業進出に関する情報提供「情報源ガイド」の配布・説明を行うとともに、受講者同士また専門家とのネットワークの構築を目指した場の提供、また講座開催後には、それぞれの受講者ニーズに合わせた専門家とのマッチングや個別相談対応体制を敷くこととしました。

- ・ 専門家への相談橋渡し
- ・ 上記専門家委員への橋渡し
- ・ 各種相談窓口などの紹介
- ・ 情報提供

講座開催時に「情報源リスト」の配布

※【巻末資料：資料集】コミュニティビジネス情報源ガイド参照

助成金・補助金・融資制度の紹介、橋渡し など

本年度の相談内容を受講者の事業進捗段階別に分析した結果は下記のとおりです。

#### 〔起業前〕

起業前の方にとっては、ビジネスプランの作成（ブラッシュアップ）や起業時に自分が何をすればいいのか（起業時の組織形態や資金計画）など、あくまでも計画の策定やその準備・情報の収集方法などが大きなニーズの傾向でした。

##### ・事例1・・・ビジネスプランのブラッシュアップ

〔対応：専門家委員（金融機関）〕

金融機関主催のビジネスプランの紹介とその初期アドバイス

〔対応：専門家派遣（産業支援機関）〕

講座で作成したプランを金融機関主催のビジネスプランコンテストへブラッシュアップするためのアドバイス・書類作成指導。

##### ・事例2・・・ビジネスプランのブラッシュアップ

〔対応：専門家派遣（産業支援機関）〕

起業はまだ先の話だが、作成したビジネスプランのうち、資金計画（収支計画）策定、具体的起業のために準備すべきことなどについてアドバイス

##### ・事例3・・・起業時の支援情報・補助金申請時の提出書類作成方法など

〔対応：事務局〕

助成金情報の提供や事例紹介

〔対応：専門家委員（産業支援機関）〕

行政・支援機関の紹介や具体的相談窓口への橋渡し（行政部署・担当者紹介など）  
補助金提出書類の作成時のコツなどのアドバイス

#### 〔起業後〕

起業後の方からは、事業のステージによって状況が様々のため、多岐にわたるニーズ・要望があったといえます。それぞれ事業立ち上げや拡大に向けての個々の相談が目立ちました。また、起業者と新事業進出の方のニーズの違いもありました。

##### ・事例1・・・新商品開発の商品化・販路開拓計画の策定

〔対応：専門家派遣（産業支援機関）〕

先進事例の紹介、新商品開発時の留意点の指導、市場調査方法、連携すべき組織

などの紹介・橋渡しなど

・事例2・・・創業黎明期の経営アドバイス

[対応：事務局]

継続的支援窓口の紹介・橋渡し（地元商工会・中小企業支援センターなど）  
助成金情報の提供（県中小企業支援センター助成金など）

[対応：専門家委員（金融機関・産業支援機関）]

財務・収支など具体的分析や分析手法の指導、広報（マスメディア対策）

[対応：専門家派遣（産業支援機関）]

行政・産業支援機関との連携方法・橋渡し、商品販路開拓方法など

・事例3・・・組織形態・組織化

[対応：専門家派遣（産業支援機関）]

売上げや組織拡大時の組織体制について  
（様々な組織体系のメリット・デメリットなど指導）

・事例4・・・商品分析やネットワーク等紹介

[対応：事務局]

専門家委員への橋渡し（大学等研究機関）  
地域先進事例の紹介

[対応：専門家委員（大学等教育機関）]

開発した商品の分析や表記方法など（大学の研究機関として）アドバイス  
産学連携事例から事例紹介やネットワーク紹介

・事例5・・・事例紹介や具体的連携など

[対応：専門家委員（民間事業者）]

先進事例先の紹介・橋渡し  
商品（サービス）の事業者への紹介・橋渡しなど

起業前・起業後（起業・新事業進出）カテゴリ訳をすると下記のような特徴があります。

[起業前]

起業に対する準備中の段階であり、「何が自分の課題なのか？」がわからなく、見えない不安がたくさんある状況。そのため、「ビジネスプランの作成」という与えられた課題に対してのブラッシュアップニーズが大きい。一方、資金計画など収支に係る分野に関しては、特に具体的イメージがない方が多いとともに不安を漠然とした不安を抱えているケースが多い。

[起業後]

起業したものの、様々な課題がでてきている方が多く、特に収支（売上・利益）・販路や組織化（個人事業か法人かなど）などの具体的相談や各分野の相談窓口（相談先）に関するニーズが大きい。

#### [新事業進出]

基本的に基盤事業を抱えている企業に勤めながら、新規事業を担当していることなどが多い傾向がある。その中では、組織化などの体制整備（自社内・新規組織化）などの課題を持っており、様々な事業スタイル（コミュニティビジネスの場合、NPO 法人・株式会社・企業組合・LLC・LLP など）の名前は知っているのその違いが分からないというケースが多い。また、早く成果は欲しい。社内（近く）に相談相手がおらず、状況を理解してもらおうと同時に相談先がわからなく、より具体的な専門家（相談窓口）を求めている傾向がある。

こうしてステージ別にみると、起業前の方は、まだ夢が先行しており、事業プランが漠然としていて、何を相談するかがわからないという状況が見られます。

起業黎明期の方は、思った以上に様々な手続きや多岐にわたる煩雑な業務に悩みながら、売上・利益の確保（結果的に事業継続と雇用）に追われている傾向があります。

新事業進出の方は、組織化含めた具体的な手続き・効果など課題を明確にされている傾向があり、自分にとって不得意な分野の専門家（窓口）を求めているケースが多いといえます。

### 4-3 今後の課題

コミュニティビジネスでの起業家に対しては、そのフォローアップも非常に重要となります。本プログラムでは、講座受講中・受講後の体制整備にも力を入れました。

受講者のフォローアップ体制に関するニーズは、起業前と後では大きく変わります。また起業家（企業の新事業進出の担当者含む）の中でも、それぞれ抱える課題の内容も、多岐にわたります。

そのため、受講者の状況に合わせた個別のアドバイス・指導が欠かせません。そこを『誰が』『どこまで』『どうやって』フォローするのは、大きな課題といえます。

また、受講者自らが、自ら課題解決に向け、行動や情報を得られるようになっていただくことも重要です。

共通したニーズは、自分の得たい情報やそれぞれの課題における相談窓口がどこにあって、どうアプローチすればいいのかが分からないということでした。

こうしたニーズに対応するため、地域別支援機関ガイドマップ（静岡県東部モデル）を作成しました。

フォローアップ体制の整備に関しては、これら多岐にわたる起業者ニーズの対応をどこまでやるのかを考慮したうえで、その相談窓口を継続的にどこに置くのかということが大きなポイントであると考えられます。

# 地域別支援機関ガイドマップ(静岡県東部モデル)

【CB相談窓口】…コミュニティビジネスの起業・新事業進出について相談ができる窓口

【専門家委員】…平成24年度コミュニティビジネス起業家育成プログラム 専門家委員

**■静岡市■**

**【専門家委員】**  
 静岡県立大学 経営情報学部 国保研究室  
 助教：国保祥子氏  
 静岡市駿河区谷田 52 -1  
 静岡県立大学 2221 号室

**【専門家委員】**  
 一般財団法人 静岡経済研究所 調査部  
 主任研究員 玉置 実氏  
 静岡市葵区追手町 1-13 アゴラ静岡 5F

**【専門家委員】**  
 株式会社 そふと研究室  
 代表取締役 坂野 真帆氏  
 静岡市葵区宮ヶ崎町 3

**★【CB相談窓口】**  
 対応内容：経営相談窓口紹介・施策紹介  
 コミュニティビジネス振興策の実施  
 静岡県 経済産業部 商工業局  
 商工振興課  
 静岡市葵区追手町 9-6  
 TEL：054-221-2181

**★【CB相談窓口】**  
 対応内容：経営相談・施策紹介・各種情報  
 組織化支援  
 静岡県中小企業団体中央会 指導部  
 協同組合静岡県中小企業調査研究機構  
 コミュニティビジネス起業家育成  
 プログラム担当  
 静岡市葵区追手町 9-6  
 静岡県産業経済会館 5F  
 TEL：054-254-1511

**■三島市■**

**★【CB相談窓口】**  
 対応内容：相談窓口紹介など  
 三島市 産業振興部 商工観光課  
 商工労政係  
 三島市北田町 4-47  
 TEL：055-983-2655

**【専門家委員】**  
 日本大学  
 食物栄養学科・専攻科食物栄養専攻  
 学科長・教授 室伏 誠氏  
 三島市文教町 2-31-145

**★【CB相談窓口】**  
 対応内容：経営アドバイス・資金相談など  
 三島信用金庫 法人サポート課  
 サポートセンター夢  
 三島市新谷 155-1 三島南支店 2F  
 TEL：055-981-0020

**■伊豆市■**

**★【CB相談窓口】**  
 対応内容：事業相談・コミュニティ紹介など  
 特定非営利活動法人 NPOサプライズ  
 担当：代表理事 飯倉 清太氏  
 伊豆市柏久保 1311  
 (伊豆市若者交流施設 9 i z u 内)

**■沼津市■**

**【専門家委員】【本講座メイン講師】**  
 株式会社イワサキ経営  
 駿河増販情報センター  
 マーケティングアドバイザー 宮口 巧氏  
 沼津市大岡 877-6  
 TEL：055-922-9870

**★【CB相談窓口】**  
 対応内容：相談窓口紹介など  
 沼津市 産業振興部 商工振興課  
 沼津市御幸町 16-1  
 TEL：055-934-4799

**★【CB相談窓口】**  
 対応内容：経営アドバイス・資金相談など  
 沼津地域中小企業支援センター  
 (月・水・金曜日開設)  
 コーディネーター 渡邊 一二氏  
 沼津市御幸町 14-5 沼津商工会議所内  
 TEL：055-931-1111

**★【CB相談窓口】**  
 対応内容：経営アドバイス・相談窓口紹介  
 東部地域イノベーションセンター  
 静岡県東部地域技術振興協議会  
 事務局長 稲葉 大典氏  
 沼津市大手町 1-1-3 沼津商連会館 5F  
 TEL：055-964-1581

**★【CB相談窓口】**  
 対応内容：経営アドバイス・組織化支援  
 静岡県中小企業団体中央会 東部事務所  
 担当：大村氏・真野氏  
 沼津市八幡町 7-1  
 TEL：055-963-4511

## 5. プログラム運営に向けた提案

プログラムの実施にあたっては、様々な方法がありますが、今回の『静岡型コミュニティビジネス起業者育成プログラム』にあたっては、

1. 専門家協議会の設置と開催
2. コミュニティビジネス起業者育成講座の開催
3. 専門家委員会によるフォローアップの実施

という3本柱を中心に実施してきました。

しかしながら、その運営上にもいくつかの課題があり、その解決が必要となります。

### 【コミュニティビジネス自体の普及啓発の促進】

- ・コミュニティビジネスの認識がまだまだ専門家・地域（行政から地域住民まで）においても確立していないところがあります。特にビジネス化という観点においては、コミュニティビジネスを興している方（興そうとしている方）や行政機関・支援機関によっても大きな認識の差が一部ではあります。助成金や補助金頼りでの運営やボランティア的な活動でも仕方ないと思っている方がいるのも事実です。ただ、その大半は、継続的な事業運営や雇用の問題を抱えており、ビジネスの視点を取り入れていくことはその一つの解決策であると思われま

### 【コミュニティビジネスの分野に合わせた連携機関の拡大】

- ・コミュニティビジネスでの起業にも様々な分野・起業スタイル・事業スタイルがあります。またその分野（地域課題）を管轄する行政や専門家の部署は多岐にわたります。それぞれの部署が現状連携できていないことも多いため、コミュニティビジネスとして事業体を形成する際には大きな課題となることが多いようです。また、それぞれの課題解決に向けての統括的な専門家はいないともいえます。それは、コミュニティビジネスが、ボランティア活動から民間企業の収益事業まで様々なスタイルで成り立つことにも起因しているものと考えられます。

### 【静岡型コミュニティビジネス起業者育成プログラムの対象者の拡大】

- ・本プログラムでは、『起業』にターゲットを絞っているため、『事業継続』、『事業展開』への対応が十分ではなかったといえます。

静岡県型コミュニティビジネスは、『事業の継続』『雇用』を目的していることから、実際に事業をスタートしてから、事業の振興を図る中で非常に大きな労力やリスクが存在します。そのため、そのフォロー体制を考える必要性があります。

### 【情報交流体制の整備】

- ・受講者、専門家、事務局など関係者での情報交流を図るため、『メーリングリスト』を活用しました。講座開催時には、事務局からの講座に関する事務連絡・情報提供などを中心にしておりましたが、同時に受講者間での交流や受講者の集合研修スタイルの講座の中でなかなか見えてこない相談なども、そこから引き出せるのではないかと考えたからです。

しかし、講座開催中は、受講者からなかなか情報発信が活発に行われませんでした。受講者は、受講時・受講後それぞれに悩みや情報は抱えているもののそれをメーリングリストという公開の場に自ら出していくには、少し抵抗があったものと思われます。メーリングリストは、受講後も継続しておりますが、講座終了後、各自の事業やプランの状況や受講者からの情報発信も少しずつ行われており、上手く活用していくことにより、相互補完の精神などによって良い機能を果たす可能性を秘めていると考えられます。

### 【コミュニティビジネス振興事業の継続】

- ・本事業は、県の委託事業で実施したため、事務局機能が充実していたが、自立したコミュニティビジネス起業者育成プログラムの運営に対しては、『定期的な専門家協議会の開催』が有効であると考えられます。

『専門家協議会』においても、各委員からは、この組織の継続に対しては、継続の重要性が求められています。



## 巻末資料：コミュニティビジネス情報源ガイド

### コミュニティビジネス起業者育成講座 情報源リスト vol.1

#### 【コミュニティビジネス】

- ・静岡県 商工振興課(コミュニティビジネス)  
<http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-510/cb/index.html>
- ・経済産業省 関東経済産業局 (コミュニティビジネス)  
<http://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/community/index.html>
- ・広域関東圏コミュニティビジネス推進協議会  
<http://www.k-cb.net/index.html>

#### 【起業】

- ・J-net21 起業 ABC  
<http://j-net21.smrj.go.jp/establish/abc/>

#### 【融資・助成金】

- ・静岡県 制度融資 開業パワーアップ支援資金  
<http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-540/seido/sikin-14.html>
- ・日本政策金融公庫 新規開業ローン  
<http://www.jfc.go.jp/k/sinkikaigyoku/index.html>
- ・地域活性化助成金 (静岡県産業振興財団)  
<http://www.ric-shizuoka.or.jp/about/chiiki/index.htm>

#### 【支援機関・関係行政機関等】

- ・静岡県 経済産業部 商工業局 商工振興課  
<http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-510/>
- ・静岡県中小企業団体中央会  
<http://www.siz-sba.or.jp/>
- ・東部地域イノベーションセンター (静岡県東部地域技術振興協議会)  
<http://www.innovation-center.jp/>
- ・沼津地域中小企業支援センター  
<http://www.numazu-cci.or.jp/shien/>
- ・静岡県産業振興財団 (静岡県中小企業支援センター)  
<http://www.ric-shizuoka.or.jp/>
- ・県内各地の商工会議所 (静岡県商工会議所連合会 HP より)  
[http://www.s-kenren.com/kaigisho\\_map.html](http://www.s-kenren.com/kaigisho_map.html)
- ・県内各地の商工会 (静岡県商工会連合会 HP より)  
<http://www.ssr.or.jp/link/index.html>
- ・経済産業省 関東経済産業局  
<http://www.kanto.meti.go.jp/>

## コミュニティビジネス起業者育成講座 情報源リスト vol.2

### 【書籍・コミュニティビジネスに関するもの】

- ・コミュニティビジネスのすべて  
(コミュニティビジネスネットワーク編・出版：ぎょうせい 2009.7)
- ・〈入門〉コミュニティビジネスの成功法則  
(コミュニティビジネスビジネスサポートセンター PHP ビジネス選書 2006.6)
- ・みんなが主役のコミュニティビジネス  
(細川信孝編著 ぎょうせい 2006.2)
- ・アグリ・コミュニティビジネス  
(大多和順子 学芸出版社 2011.2)
- ・コミュニティ・カフェをつくろう！  
(WAC 編 学陽書房 2007.12)
- ・農村版コミュニティ・ビジネスのすすめ  
(石田正昭編著 家の光協会 2008.5)
- ・コミュニティ・カフェをつくろう！  
(WAC 編 学陽書房 2007.12)
- ・成功する！「地域発ビジネスの進め方」  
(島田晴雄 かんき出版 2006.11)
- ・13の実例で学ぶコミュニティビジネス成功事例集  
(安田竜平編著 経林書房 2004.7)

### 【書籍・地域ブランドに関するもの】

- ・地域資源活用の売れる商品づくり  
(全国中小企業情報化促進センター編 同友館 2008.1)
- ・そうだ、葉っぱを売ろう！過疎の町、どん底からの再生  
(横石知二 ソフトバンククリエイティブ 2007.08)
- ・事例で学ぶ！地域ブランドの成功の法則 33  
(田中章雄 光文社 2008.10)
- ・地域ブランドへの取組み26のケース  
(安田竜平編著 同友館 2007.11)
- ・地ブランド 日本を救う地域ブランド論  
(博報堂ブランドプロジェクト著 弘文堂 2006.8)
- ・地元の逸品を世界に売り出す仕掛け方  
(安藤竜二 ダイアモンド社 2009.7)

## コミュニティビジネス起業者育成講座 情報源リスト vol.3

### 【文献：商品を作る、売るために】

- ・「景気ウォッチャー調査」(内閣府 月次)・・・ネットで閲覧可  
[http://www5.cao.go.jp/keizai3/watcher/watcher\\_menu.html](http://www5.cao.go.jp/keizai3/watcher/watcher_menu.html)
- ・「消費社会白書 2013」(JMR生活総合研究所 年刊)  
発行：2012年11月 版形：A4版カラー 定価：9,800円  
<http://www.jmrli.co.jp/rsst/hakusho/2013/index.html>  
「消費社会白書 2012」については藤枝市立図書館にあり。

### ※静岡県立図書館 おうだんくんサーチ

<http://www.tosyokan.pref.shizuoka.jp/contents/c-search/index.html>

静岡県立図書館のサービスで 静岡県内の公共図書館、大学・専門図書館などの所蔵する資料を一括して検索できるシステムです。書名や著者名などのキーワードを入力して検索すれば、県内の図書館が所蔵している資料を探することができます。

資料がみつかったらお住まいから離れた図書館の資料でも、ご近所の図書館を通して閲覧したり借りたりすることができます。(お目当ての本を見つけたら、お近くの図書館にご相談ください。)

静岡県立中央図書館 HP より抜粋 <http://www.tosyokan.pref.shizuoka.jp/>

### 【書籍：商品を作る、売るために】

- ・目のつけどころ  
(山田真哉著 サンマーク出版 2010.01)
- ・新製品・新事業の育て方  
(池田裕一著 同友館 2002.11)
- ・ヒット商品を生む！消費者心理のしくみ  
(梅沢伸嘉著 同文館出版 2010.05)
- ・売れる仕掛けはこうしてつくる  
(栗木契、余田拓郎、清水信年編 日本経済新聞社 2006.12)
- ・なぜプレミアムモルツはこんなに売れるのか  
(片山修著 小学館 2010.06)

### 【雑誌：商品を作る、売るために】

- ・日経トレンディ (日経 BP 出版センター 月刊)  
※ネットサイトあり 日経トレンディネット <http://trendy.nikkeibp.co.jp/>

## コミュニティビジネス起業者育成講座 情報源リスト vol.4

### 【書籍：広報・PR するために】

- ・「マスコミ電話帳 2012 年版」  
(宣伝会議 2012.01)
- ・「広報マスコミハンドブック」  
(日本パブリックリレーションズ協会 2011.11)
- ・広報・PR の基本  
(山見博康著 日本実業出版社 2009.05)
- ・広報・PR 実務ハンドブック  
(山見博康著 日本能率協会マネジメントセンター 2008.04)
- ・PR 会社の時代  
(矢島尚著 東洋経済新報社 2006.07)
- ・商品よりも、ニュースを売れ！  
(酒井光雄著 日本経済新聞出版社 2010.03)
- ・ウェブ PR 力～マスコミに頼らない PR とマーケティングの新ルール 70  
(株) ニュース・ツー・ユー著 翔泳社 2010.01)
- ・ウェブ PR ハンドブック  
(吉池理著 日本能率協会マネジメントセンター 2009.12)
- ・脱広告・超 PR  
(山田まさる ダイアモンド社 2009.07)
- ・儲かる会社はニュースづくりが上手い  
(竹村徹也著 実務教育出版 2004.09)
- ・売れないのは誰のせい？  
(山本直人著 新潮社 2007.06)

### 【参考】

#### 1. 広告と広報の違い

広告：広告費を支払うことによりメディア（新聞・雑誌・テレビ、Web など）に露出  
日本において信頼性の高いマスメディアからの情報発信であり信頼性が高い

広報：優良な「情報」を提供することによりメディア（新聞・雑誌・テレビ・Web など）に露出  
広告主（企業）の思い通りに露出ができ、企業（商品・サービス）の印象を創り上げられる

#### 2. 日本の PR 会社（2009 年度売上ベース）

1 位：電通パブリックリレーションズ 2 位：サニーサイドアップ 3 位：共同 PR

## コミュニティビジネス起業者育成講座 情報源リスト vol.5

### 【コミュニティビジネス・ソーシャルビジネス】

- ・「ソーシャルビジネス・イエローページ@四国」  
四国経済産業局 地域経済部 地域経済課 競争環境整備室  
[http://www.shikoku.meti.go.jp/soshiki/skh\\_b1/5\\_houkoku/120427/120427.html](http://www.shikoku.meti.go.jp/soshiki/skh_b1/5_houkoku/120427/120427.html)
- ・コミュニティビジネス活動事例集 2004
- ・コミュニティビジネス 事例集 2006
- ・コミュニティビジネス 事例集 2008  
関東経済産業局 産業部 流通・サービス産業課 コミュニティビジネス推進チーム  
[http://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/community/index\\_cb-example.html](http://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/community/index_cb-example.html)
- ・ソーシャルビジネス55選  
経済産業省  
[http://www.meti.go.jp/policy/local\\_economy/sbcb/sb55sen.html](http://www.meti.go.jp/policy/local_economy/sbcb/sb55sen.html)
- ・ソーシャルビジネス・ケースブック ～地域に「つながり」と「広がり」を生み出すヒント～  
経済産業省  
[http://www.meti.go.jp/policy/local\\_economy/sbcb/casebook.html](http://www.meti.go.jp/policy/local_economy/sbcb/casebook.html)
- ・『書き込んで作る自分だけの起業ノート』  
(特定非営利活動法人コミュニティビジネスサポートセンター (CBS) 2010.08 630円)

※「コミュニティビジネス起業者育成講座 情報源リスト」は、講座の受講者を対象に紹介している書籍等であり、講座内容とは直接関係ありませんが、コミュニティビジネス起業者育成講座事務局が事業を通じて参考にしたものを中心に掲載させていただいています。

### 【企画・編集】

協同組合静岡県中小企業調査研究機構

コミュニティビジネス起業者育成プログラム事務局



静岡型コミュニティビジネス起業者育成プログラムについて

協同組合静岡県中小企業調査研究機構

コミュニティビジネス企業者育成プログラム担当

〒420 - 0853

静岡県静岡市葵区追手町 44 番地の 1 静岡県産業経済会館 5 階

(静岡県中小企業団体中央会内)